2013年10月29日（火）

進捗状況

・成果物を明確にする．

先週，矢吹先生にアドバイスいただいたこと，先生方のご指摘のまとめを参考に成果物の候補を作っている最中です．

３つの成果物の候補を考えてみました．

1. 新たなPM手法を提案する．

OSSプロジェクトのようにフェイスtoフェイスでないプロジェクトにおいて効率を上げるための新たなPM手法を考えてみる．新たではなくとも既存のPM手法の改良をしてみたり．ノマドワーカーや在宅勤務者が増えてきているのでそういう人たちにも役立つかもしれない．イメージとしてA理論＋B理論＝PM手法，モデル化

コメント：PMBOKは「F2F」が暗黙に仮定されているかも．OSSの場合は，PMBOKでは足りない？　じゃあどういうことが必要？　それをGitHubのデータで裏付けられる？　例：OSSでは生存確認が必要．GitHubにもそれを支持するデータがある．

GitHubへのコミットの時間変化を個人ごとに調べる．（似たような話はあったが，思い出せない）

データを時系列解析の手法でマイニングする．

宿題

特定の何人かを選んで（有名人あるいは君自身，taroyabuki）の活動（コミット，Issueの操作）のログをとって，Excelで表にしてみる．例：

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 何をしたか |
| 2013/10/30 12:00 | コミット |
| 2013/10/30 13:00 | Issueをクローズ |

宿題

「時系列データの解析」をやってみる．

1. リスクの低減や課題を明らかにさせる手法を提案する．

どのような手法でリスクを抑えることができるのか．それによりどのようなメリットがあるのか．例えばIssuesをコミュニケーションマネジメントの手法で紐解くなど，色々なPM手法を使用してみる．PMBOKで参照し，最終的にはOSSプロジェクトのリスクのリストアップを作ってみる．

1. OSSプロジェクトの旬のプロジェクトは何なのか，どのようなプロジェクトが多いのかをリストアップする．

ツールから得たデータをPMBOKで定義されてるPM手法の項目に当てはめることで，過去と今のプロジェクトの変異を明らかにする．例えばプログラミングのランキングを作成してみるなど．年代ごとにまとめる．

使用するツールをいくつか挙げてみました．Google BigQueryはGitHub データセットが公開されているのでトレンドの調査に役立ちますが，まだ登録は完了していません．

GitHub Trending Page

GitHub上で今何がトレンドかを知るための方法の一つで，ユーザは期間別，プロジェクト別，デベロッパ別，プログラミング言語別などでトレンドを知ることができるので，旬のプロジェクトがわかるかもしれない．ここでは，星印の数，フォーク数，コミット数，フォロー数，ページビューなどのデータは研究に利用できるのかなと思い調べています．

もうひとつの争点としてOSSプロジェクトは失敗したかしていないかなどの判断は，第三者からは明確ではないのでわかりずらく，プロジェクトの状況を深く考察するのには時間がかかるのでこの争点も考えていきたいと思います．